

平成28年度岡山県立記録資料館運営協議会 議事録（概要）

1 日 時 平成29年2月2日（木） 10:00～11:45

2 場 所 岡山県立記録資料館 研修室

3 出席者

（委員） 奥田哲也、沢山美果子、清水玲子、中村誠、服部真理（敬称略、50音順）
（事務局） 岡山県立記録資料館 定兼館長他

4 傍聴者 なし

5 議 題

- (1) 平成27年度事業報告について [資料：クリック（平成27年度記録資料館年報）](#)
- (2) 平成28年度事業の現況等について 資料：平成28年度事業の現況等（p7～22）
- (3) 平成29年度事業計画（案）
- (4) その他（記録資料館の長期計画について）

6 議 事

委員長により議事進行

(1)「平成27年度事業報告」について（事務局から説明）

（委員） 公文書に対する内閣法制局の解釈が報道されているというが、もう少し詳しく聞きたい。

（事務局） 新聞記事では、組織内で了承を得る過程で修正された場合、修正前のものは公文書には当たらないとする内閣法制局の解釈だが、公表、未公表にかかわらず公文書管理法、情報公開法では対象になる。国会答弁用の「想定問答」も、これから問題になるだろう。

（委員） 当館のロゴマークとはどんなものか。

（事務局） 平成27年度年報の34ページに記載している。ロゴマークの作成は、公募により実施したが、結果としてプロのものが採用となった。

（委員） 公文書のうち当館で保存するものを選定するのは、作成した者が選定するということか。

(事務局) 公文書管理法ではそうだが、岡山県の例規では、総務学事課長がリストを記録資料館長に渡し、記録資料館長が選別することになっている。

(委員) 選別したものを客観的に評価する機関があればと思うがどうか。

(事務局) 第三者機関が望ましいと思うところもあるが、公文書の重要性は作成した者しか分からない面もあり、選別権に関する議論は続いている。

(2)「平成28年度事業の現況」について(事務局から説明)

(委員) 高校への出前講座だが、どんな講義の中で実施したのか。

(事務局) 授業の中でというのは難しく、知り合いの教員の要請により、総合的な学習の時間、土曜日活用講座などで、日本史選択をしている生徒達を対象に、アーカイブズの入門講座ということで実施した。後楽館高校は毎年実施している。

(委員) 夜間講座だが、仕事帰りの参加者と聞いたがどういった方々か。定兼館長が講師として実施している講座等がかなりあるが、定兼館長の引退後はどうするのか、将来の見通しを聞きたい。

(事務局) 夜間講座は勤労者を対象としたもので、内心としては県庁職員の参加も期待していたが少なかった。講座等の講師については、数をこなさないとできない。また、できるだけ新しい人に講師をとという思いから、他館等の職員にも講師を依頼している。そこから仲間が増え、お互い自信につながっている。人的ネットワークについても、「ひろがる酒の輪」の企画で13機関の連携が図れた。これは、それぞれの担当者が自主的に行動し協力した結果だ。当館職員も講座等をこなすことにより育っているので、館長の跡継ぎには心配していない。

(委員) 企画展の記念講演・出張講演の参加者は少ないが、どういう方法でPRしたのか。また、新聞等への掲載は、実施したから取材されたのか、広告としてお金を掛けてPRしたのか。

(事務局) 各機関へチラシを送付し、それを各機関の担当者がPRした。新聞等への掲載については、記者の方から取材を受けたもので、お金は掛けていない。「ひろがる酒の輪」のような連携した企画展を、どこの機関もまた実施したいと思っているようだ。来年度は、「あじわい」をテーマにと考えている。

(委員) 館の連携というものが、今まであまり出来ていないと感じていたが、この企画展の連携、成果によって、それぞれの機関が自信を持っただろう。また、夜間講座を実施することにより、新しい参加者が増えたというのも良いことだ。今後も大変だ

ろうが継続することが大切だ。

(委員) 古文書を残す大切さを考えると職員の充実を図ることが必要と思うが、そのためには研究活動が重要である。10年後を見据え、研究活動を活発にする方法を考えてほしい。

(事務局) 職員の成長は、地道な活動の積み重ねが重要と考えている。職員は利用者と共に成長していくものであり、利用者とのやり取りが重要である。また、記者の取材により成長していくこともあり、記者の方々には、当館にはネタはたくさんあると思うので、行事の取材だけではなく、勉強のために来館してほしい。

(委員) イベント等工夫を凝らして実施しているが、新しいものも継続して実施してほしい。イベントだけでなく当館が抱える悩みや今後の展望など、新聞掲載等利用し、視聴者にPRしてはどうか。

(事務局) 新聞記事は大きな記事も重要だが、小出しの記事も重要であり、行事を個々に掲載することにより、繰り返し当館の名が強調される効果もある。

(委員) 当館のホームページで展示資料検索ができるのは良いと思う。特に若い人達には、町史研究など勉強になるしアピールにもなり、また連携にも繋がっていく。講座等のネーミングは、一般向けにアレンジすることが大変必要だと分かった。

(事務局) 展示は一つの作品であると考えているが、展示が終わると忘れられてしまうので、何とか形に残して当館の財産にしておきたい。

(委員) 検索システムで公開される写真は、いつ、どこで撮影されたかなどの説明はあるのか。

(事務局) 年代、撮影日、場所など、情報は分かる範囲でできるだけ掲載する。

(委員) リニューアルする3月1日から、8万点が閲覧できるのか。

(事務局) 修正箇所もあると思うが、とりあえず掲載し、徐々に訂正していく。

(委員) このような検索システムを導入しているところは他にあるのか。

(事務局) 他でも大体同じような検索システムである。ただ、今回のシステムでは、初めての利用者の使い易さを考慮して、視覚的にも感覚的にも使い易いようなものにするため、色彩も含め操作性を上げている。例をあげれば、「地図から検索」である。

(委員) 明日3日に県内市町村職員を対象とした文書保存研修会があるが、参加予定人数が10人とは少ないのではないか。また、6ページの(6)調査報告会とはどういうものか。

(事務局) 研修会については、各市町村の総務関係及び教育委員会へ案内したが、議会等行事が重なったため9市町10名の参加予定となった。当日は三豊市文書館の取組と総社市の取組の説明内容及び事前に提出いただいた文書収集や保存等に関する質問、苦慮していることなどのアンケートを材料に情報交換会を行う。当館としては、情報交換会での10名という人数は、充実した情報交換ができるものと考えている。

調査報告会は、職員、ボランティア、同好会の方々により毎年実施しており、日頃の資料整理や調査研究から一年間を通し発見したことなどを一人3分程度で報告する会である。

(3)平成29年度事業計画(案)について

(事務局) 平成29年度事業計画の重点は、次のものを考えている。

①アーカイブズウィークをはじめ 講座や企画展、研修会等、本年度同様工夫を凝らしながら実施する。

②平成29年度は新たに臨時的任用職員を1名増員し、3名体制で書庫狭隘化対策事業を継続することにより、未整理公文書を早期に整理し、一般への利用を推進する。

③当館が所蔵する資料目録のデータベース管理及びインターネットを介した目録検索サービスを提供する目的で、平成17年9月の開館当時から運用開始し、平成23年に更新改修して運用してきた「文書検索システム」を本年度新たに更新し、平成29年度からは「新文書検索システム」の稼動により、当館の効率的な運営と利用者のより一層の利便性の向上を図る。

(4)その他(記録資料館の長期計画について)

(事務局) 書庫狭隘化対策であるが、現在8割方書庫が埋まっており、今後5年程度で満杯になるのではないかと考えている。そのため、今年度から三カ年計画で3階の書庫を5段から6段に変える事業を実施し、10数パーセント増設することにより、今後10年は保つのではないかと考えている。臨時的任用職員の1名増員は、データの再選別をさせる予定である。

また、文書検索システムは5年毎の更新となっているが、5年後のデジタル業界・トレンドがどうなっているか、また公文書のあり方がどうなっているか見通しがつかない。年々廃棄公文書・保存公文書は減少しており、デジタル化が進んでいる。今後デジタル化への対応も考えなくてはならないが、現物をどうするかが問題である。これは日本全体の問題であり、日常的に社会を見据えていくというスタンスが必要である。全国歴史資料保存利用機関連絡協議会だが、平成29年度、30

年度は岡山県が会長県となっており、リーダーシップを取りながら、その中でも協議していく。

長期計画としては、新しい書庫を見つけることも考えなくてはならないが、当面現状を維持することが必要である。

(委員) 10年後には書庫の増築等考えなければならないということか。

(事務局) 文書管理については、作成後30年間は閲覧に供しないということがあり、その間はどこか別の場所で保存する中間書庫という発想もある。それから、この館は築30年の建物をリニューアルして造られ、当初は20年保てば良いということだったので、20年経てば必ず新たな建物など恒久的な方向を出さなくてはならない。

(委員) デジタル化された資料・データをどういう形で保存するのかということは、大変難しい。

(事務局) 以前、県庁では5年間程電子決裁化したことがあるが、更新時に止めた。その5年間は、証拠書類的なものはプリントアウトして残っているが、その他は残っていない。

(委員) 電子化では情報が漏れることがあり、紙の方が良いのか難しい問題だ。映像などは、劣化しないような方法でデジタル媒体として保存しているのではないか。

(事務局) フィルムは劣化するのでデジタル化しているが、それも何年かすると見えなくなる。大変厳しい状況である。いずれにしても、偶然に残るのではなくて、残そうという思いが必要だ。

(委員) 担当職員が他の部署に異動した場合、今まで担当した仕事の記録をどうするのか、どのように引き継ぐのかといった問題があると思うがどうか。

(事務局) 職員研修が重要である。担当者レベルでの事務引き継ぎでは、業務を如何に遂行するかだけとなっており、保存は全く考えていない。そこを当館としてはアプローチしていく必要がある課題である。

(委員) 平成28年度アーカイブズウイークアンケートで「燃えろ岡山県民運動」が懐かしい等感想があるが、こういった形で実施したのか。

(事務局) アーカイブズウイーク事業で、新公開資料という所蔵展を実施した。その中で「燃えろ岡山県民運動」に関する公文書を展示した。

(委員) 目立たない仕事が多いが、地道に遂行され心強く思う。これからも継続した事業の実施をお願いします。

(委員) 以上で議事を終了する。

平成28年度事業の現況等

(平成 29 年 1 月 1 日時点の状況及び今後の予定)

1 収集・整理・保存

(1) 公文書、行政刊行物等

ア 収集

(ア) 本 庁 4 月～7 月、本庁に出向き、選別、収集を実施。574 冊収集

(イ) 出先機関 県民局・地域事務所・保健所等が実施する文書廃棄時に現地に出向き、選別、収集を実施。116 冊収集

○ 適切な文書管理に係る説明会

県職員を対象に開催

開催日	内 容	説明者	会場	参加人数
7月15日 (金) 午後	【文書副管理者対象】 120分 ①文書の県立記録資料館への引継 ②香川県立文書館と公文書管理	上田総括副参事 香川県立文書館 嶋田主任専門員	きらめき プラザ	46人

新規採用職員を対象に開催

開催日	内 容	説明者	会場	参加人数
10月14日 (金) 午前	【平成28年度採用職員対象】 30分 ①文書管理について ②公文書の県立記録資料館への引継	定兼館長	岡山県 自治研 修所	約100人

市町村職員を対象に開催

開催日	内 容	説明者	会場	参加人数
2月3日 (金) 午後	【公文書等担当職員対象】 120分 ①三豊市文書館の取組について ②総社市の文書管理について ③情報交換	三豊市文書館 宮田専門員 総社市総務課 小野主任	記録 資料館	10人 (予定)

イ 整理

昭和 57 年度～平成 28 年度収集の公文書等について内容確認を行い、約 4, 400 冊について簿冊名等の目録のデータベース化を実施。

ウ 保存

(ア) 所蔵資料のデジタル化

名 称	内 容	実施時期
公聴広報課からの引継写真	ネガフィルムのデジタル化	12月～2月

(イ) 所蔵資料のくん蒸処理【古文書と共通】

- ・ 館内での二酸化炭素処理(6 月～10 月)
- ・ 外部委託による薬剤くん蒸(6 月、8 月、10 月)
- ・ 新たな収蔵資料の殺虫、殺卵(館内の大型冷凍庫による低温処理)

(ウ) 書庫の環境管理【古文書と共通】

- ・ 月2回の書庫内清掃
- ・ 専門業者による書庫環境調査(5月～1月)

(2) 古文書

ア 収集

区分	寄贈	購入
収集	10件	132点

イ 整理

内容確認を行い、資料名等の目録のデータベース化を実施

資料群名	件数	備考
明治前期岡山県史野崎家資料	1,852	データ整理中
岡山県内の絵葉書(追加)	38	
岡山県内市街地図・郡地図(追加)	4	
岡山県地図(追加)	2	
2015年度収集諸資料	215	
江原氏収集新聞号外(追加)	3	
松本氏寄贈資料(追加)	152	
日笠俊男氏収集資料(追加)	5	
岡山藩士浅田家資料	528	
賀陽郡生石村資料(追加)	82	
岡山産業文化大博覧会パンフレット	1	
太田辰五郎関係資料	32	
岡山陸軍病院写真帖	1	
岡山城下町親孝行褒賞関係資料	9	
太政官日誌	1	
勝南郡池ヶ原村大岡家資料	49	目録整理継続中
児島郡粒浦村小川家資料	2,763	目録整理継続中
計	5,737	

ウ 保存

(ア) 所蔵資料の修復

名称	内容	実施時期
絵図の修復(3点)	虫食いや破損等、痛みの激しい資料を修復	8月～2月

(イ) 所蔵資料の複製

名称	内容	実施時期
マイクロフィルムのデュープ	TACベースのマイクロフィルムのうち、劣化が進んでいるフィルムの複製を作製	10月～12月

2 閲覧及び利用

(1) 来館者の状況

ア 利用者

県職員、行政機関職員、教員、研究者(大学教員含む)、学生等

イ 利用目的

郷土研究、専門分野研究、論文作成、家系調査、業務上の調査、出版掲載等

○ 開館日数等

(単位:日、人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	24	22	26	26	25	24	25	24	18	214
展示コーナーの観覧者	112	137	243	233	207	247	271	251	110	1,811
閲覧室・グループ閲覧室の利用者	141	111	190	150	157	144	154	178	85	1,310

(2) 閲覧室における利用状況

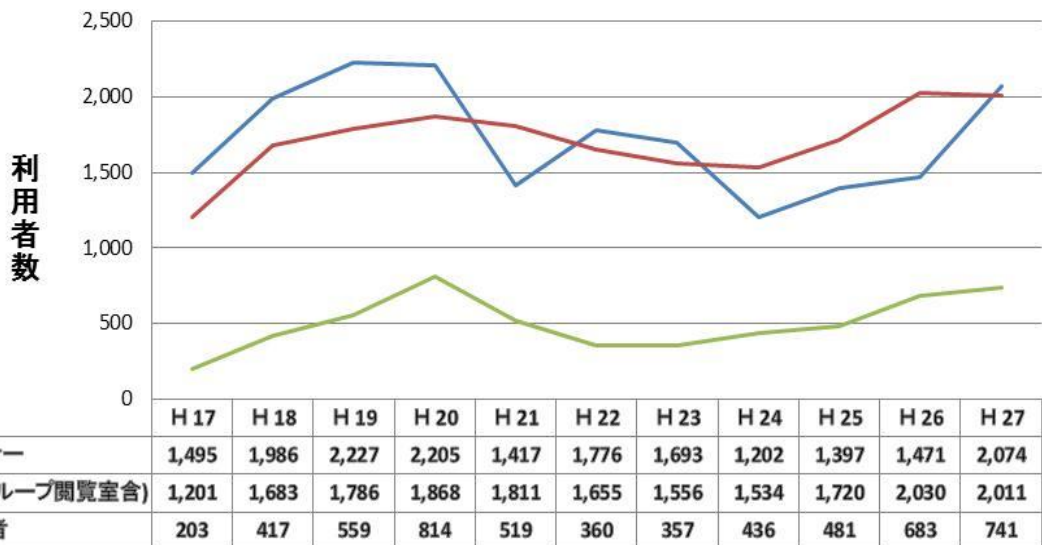
ア レファレンスの内容

公文書の閲覧方法に関するもの、家系調査に関するもの、戦前及び戦後(昭和 20～30 年代)の地図に関するもの、くずし字の読解に関するもの、資料の保存方法に関するもの、当館所蔵資料に関するもの、資料の所在に関するもの、著名人等の経歴に関するもの、写真資料に関するものなど

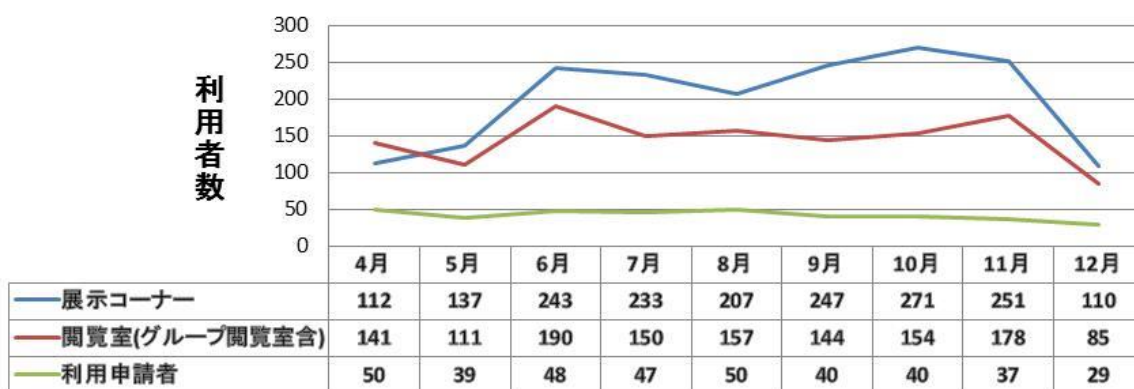
イ 利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
利用申請者(人)	50	39	48	47	50	40	40	37	29	380
公文書(移管写真を含む)(冊・点)	272	0	13	74	0	5	40	0	11	415
古文書(点)	134	54	47	39	177	94	81	16	70	712
複製資料(冊)	186	207	205	273	468	154	219	187	114	2,013
マイクロフィルム(本)	17	15	23	8	32	15	6	35	9	160
図書・各種刊行物(冊)	126	133	149	170	177	129	158	166	113	1,321

平成17年度～平成27年度の利用者推移



平成28年度の利用者推移



(3) 県立図書館に配置している当館資料

ア 配置資料 ※すべて複製

山陽新報、中国民報、合同新聞、岡山県布達、岡山県報、岡山県公報、
地方長官事務引継書、東寺百合文書、備陽国学記、窪田家資料

イ 利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
複写申請者(人)	9	21	7	13	11	8	8	7	8	92
複写資料数(点)	53	58	21	44	21	27	20	21	39	304

(4) ホームページ

ア 掲載情報

当館の紹介、利用案内、講座・展示の開催案内、刊行物、資料検索等

イ 月別アクセス数

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
アクセス数	1,765	1,611	1,795	1,743	1,821	1,811	1,828	1,785	1,459	15,618

(5) 出版・掲載の申請状況

(単位:件、点)

区 分	行政機関	出版社	個 人	その他	計
申請件数	10	0	0	5	15
資料点数	13	0	0	18	31

3 普及及び啓発

当館研修室等を会場に、展示や講座等を開催

(1) 展示

ア 所蔵資料展

展示期間	内 容
H28.3.15～ 5.29	「地場産業と企業誘致」
H28.6. 1～ 7.24	「新公開資料」
H28.7.26～10.23	「光る汗！」

イ 写真展示

展示期間	内 容
H28.6.1～7.24	航空写真～空から見た岡山～

ウ 企画展

展示期間	内 容
H28.10.25～11.27	「晴れの国 おかやまの酒」

(2) きろくる県史みらい塾－夜間講座－(5回講座)

講師：定兼館長、会場：研修室

開催日	内 容	参加人数
5月27日(金)	岡山諸藩と自治スキル	55人
6月24日(金)	寺子屋と教育再生システム	48人
7月29日(金)	城下町形成と産業振興プラン	42人
8月26日(金)	物見遊山と観光振興プログラム	26人
9月30日(金)	孝行娘と福祉サービス	36人

(3) 古文書解読講座

ア 初級コース A・B(1回のみ)「A」「B」とも内容は同じ

講師：当館職員、会場：「A」「B」とも研修室

開催日	内 容	参加人数
A 6月 2日(木)	「楽しい古文書」A・B 一触れて読んで－ くずし字の初歩的な読み方を学ぶ	A:29人
B 6月 4日(土)		B:21人

イ 中級コース(4回連続講座)

講師：当館職員、会場：きらめきプラザ 705 会議室

開催日	内 容	参加人数
7月 8日(金)	深める古文書① ある程度のくずし字を読む	55人
7月22日(金)	深める古文書② ある程度のくずし字を読む	50人
9月 9日(金)	深める古文書③ ある程度のくずし字を読む	46人
9月23日(金)	深める古文書④ ある程度のくずし字を読む	46人

ウ 専修コース(4回連続講座) 1月～2月(予定)

講師：当館職員、会場：きらめきプラザ 705 会議室

開催日	内 容	参加人数
1月13日(金)	「極める!？」① 慶応 2～3 年(1866～1867)の資料を学ぶ	40 人
1月27日(金)	「極める!？」② 慶応 2～3 年(1866～1867)の資料を学ぶ	43 人
2月10日(金)	「極める!？」③ 慶応 2～3 年(1866～1867)の資料を学ぶ	人
2月24日(金)	「極める!？」④ 慶応 2～3 年(1866～1867)の資料を学ぶ	人

(4) きろくる岡山もんげーゼミナール(5回講座)

開催日	内 容	講 師	参加人数
7月1日(日)	郷土資料の面白さを知ろう!	飯島章仁(岡山市立中央図書館学芸副専門監)	44人
8月7日(日)	和綴じ本をつくってみよう!	山下香織(当館職員)	16人
9月11日(日)	身近な街の風景を楽しもう!	福田 忍(「おかやま街歩きノオト」作り手)	59人
10月9日(日)	公文書の世界を覗いてみよう!	定兼 学(当館館長)	31人
11月6日(日)	昔の新聞を調べてみよう!	坂本 昇(元山陽新聞記者、美作大学非常勤講師)	35人

(5) 講演会等

ア 第11回アーカイブズウイーク行事

会期:6月1日~7日

開催日	内 容	参加人数
6月5日	・記念講演会 演題:「歴史映像が教えてくれるもの ~岡山ぶらりタイムトラベル~」 講師:小松原 貢(山陽放送岡山映像ライブラリーセンター長) 会場 きらめきプラザ3階 301会議室	53人
6月1日~7日	・記録映像上映会 タイトル:「おかやま拝見」(昭和44年制作) 47年前のおかやまを加藤知事(当時)が空から案内!	90人
6月1日~7日	新公開資料展示、公文書・古文書	90人
6月2日 6月4日 6月5日	展示解説	65人
計		298人

イ 企画展

記念講演会

開催日	内 容	講 師	参加人数
10月29日(土)	演題 「日本酒の近現代史 -酒類鑑定制度の成立と成果-」	中央大学 非常勤講師 鈴木芳行氏	23人

出張講演会

講師:定兼館長

開催日	内 容	参加人員
11月5日(土)	演題:「晴れの国おかやまの酒」 会場:瀬戸内市民図書館 つどいのへや	25人
11月19日(土)	演題:「晴れの国おかやまの酒」 会場:湯郷地域交流センター	14人

(6) 調査報告会

平成29年3月11日(土) ※予定

「日頃の活動を通してわたくしなりに発見したこと」

4 資料集等の編さん及び刊行物

(1) 岡山県記録資料叢書 12号

・ 内 容 国立公文書館所蔵「府県史料」のうちの「岡山県史料」や本館所蔵の諸家資料などを翻刻

- ・ 送付先 (県内)教育機関、公立図書館・博物館等
(県外)公文書館、都道府県立博物館・図書館等
- ・ 発 行 平成 29 年 3 月予定

(2) 岡山県立記録資料館紀要 12号

- ・ 内 容 岡山県の記録資料に関する調査・研究、資料紹介、講演・展示記録等
- ・ 送付先 (県内)教育機関、公立図書館・博物館等
(県外)公文書館、都道府県立博物館・図書館等
- ・ 発 行 平成 29 年 3 月予定

(3) 岡山のアーカイブズ 6

- ・ 内 容 当館職員、同好会等が読解した資料を翻刻
- ・ 送付先 (県内)教育機関、公立図書館・博物館等
(県外)公文書館、都道府県立博物館・図書館等
- ・ 発 行 平成 29 年 3 月予定

(4) 岡山県立記録資料館年報(平成 27 年度)

平成28年5月に発行し、ホームページに掲載。

(5) 岡山県立記録資料館だより第 12 号

平成28年9月に発行し、館内へ設置するとともにホームページに掲載。

5 ボランティア及び同好会

(1) ボランティア

- ・ 登録人数 23 人
- ・ 活 動 日 主に毎週火曜、水曜、隔週木曜
- ・ 年齢層等 60 歳以上、無職
- ・ 活動内容 資料整理(カード作成・目録整理)、新聞記事の切り抜き、資料撮影、書庫内清掃等

- ・ 活動状況 (単位:日、人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動日数	12	11	15	12	15	13	13	13	10
活動人数	実 数	23	24	24	22	19	22	22	19
	延 べ	82	64	68	56	55	57	48	37

(2) 同好会

- ・ 会 員 数 29 人
- ・ 活 動 日 毎月第 2、第 4 木曜、月末水曜日[江戸藩のみ]
- ・ 年 齢 層 等 60 歳以上、無職
- ・ 活 動 内 容

班	活 動 内 容
書簡班	当館所蔵花房端連義質関係資料の明治書簡を解説
武家班	岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫の「武家聞伝記」を解説
江戸班	当館所蔵勝山藩家老九津見家資料の江戸日記を解説

6 共催及び連携事業等

- ・ 平成 28 年度企画展関係

※共催:瀬戸内市民図書館 後援:美作市教育委員会 連携:岡山県立図書館

ひろがる酒の輪～酒とその歴史をめぐる 13 機関の連携展示

赤磐市山陽郷土資料館	赤磐市吉井郷土資料館
岡山映像ライブラリーセンター	岡山県立図書館
岡山県立博物館	岡山空襲展示室
岡山市立中央図書館	岡山大学附属図書館(中央図書館)
公益財団法人吉備路文学館	瀬戸内市民図書館
備前市埋蔵文化財管理センター	備前市歴史民俗資料館

- ・ 津山市教育委員生涯学習部津山市史へんさん室(調査)
- ・ 岡山商科大学(博物館実習)
- ・ 赤磐市「郷土の歴史を学ぶ会」(施設見学)
- ・ 岡山県歴史教育者協議会(施設見学)
- ・ 横須賀市議会(視察)
- ・ 岡山後楽館高等学校(出前講座)
- ・ 岡山操山高等学校(出前講座)
- ・ 倉敷青陵高等学校(出前講座)※2回
- ・ 井原市埋蔵文化財センター(出前講座)

7 新聞等への掲載等(※講座案内等を含む)

- ・ きろくる県史未来塾(山陽新聞・朝日新聞・読売新聞・RSKラジオ・FM岡山・NHKデジタル放送)
- ・ 第 66 回所蔵資料展「地場産業と企業誘致」(山陽新聞)
- ・ 第 11 回アーカイブズウィーク(山陽新聞、朝日新聞・FM岡山、NHKデジタル放送)
- ・ 古文書解説講座(山陽新聞、FM岡山放送、NHKデジタル放送)
- ・ 第 67 回所蔵資料展「新公開資料」(山陽新聞)
- ・ きろくる岡山もんげーゼミナール(山陽新聞、毎日新聞)
- ・ 第 68 回所蔵資料展「光る汗！」(山陽新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、NHKテレビ、テレビせとうち、FM岡山)
- ・ 平成 28 年度企画展「晴れの国おかやまの酒」(読売新聞・山陽新聞・朝日新聞・RSKテレ

ビ・RSKラジオ・FM岡山・NHKデジタル放送)

- ・「国際アーカイブズ評議会に参加して」(山陽新聞)
- ・「保存と利用 共に力注ぐ」(山陽新聞)

平成28年度行事のアンケート

- 1 第11回アーカイブズウィーク 平成28年6月実施
 - ①全体行事(記念講演会以外)P11
 - ②記念講演会P12~13

- 2 古文書解読講座 初級コース 6月実施P14
- 古文書解読講座 中級コース 7月9月実施.....P15
- もんげーゼミナール「和綴じ本を作ってみよう！」.....P16

① 今回の企画は、何によってお知りになりましたか。

チラシ:14人 ホームページ:14人 記録資料館:8人 知人の紹介:7人
その他:6人

② ご感想をお聞かせ下さい。

- ・「燃えろ岡山」懐かしいです。
- ・記録映像「おかやま拝見」を見て、懐かしく拝見しました。
- ・大変面白かったです。丁寧な資料、解説ありがとうございました。
- ・空襲、進駐軍に関する作文について、空襲については、文字が薄く読めない部分が多かった。それに対して進駐軍については、子供の思いが良くわかりとても興味深かった。できれば、書かれた内容の要旨を展示して頂ければ、良かった。
- ・統一したテーマに基づいた展示の方がわかりやすかったです。
- ・宣伝不足と思います。
- ・古い、色々な資料があるので、驚きました。色々な資料を又見たいです。
- ・岡山県に住んでいながら、県民運動のことも余り知らずに来たと反省しました。
- ・資料を裏付ける調査が詳しくバラバラの資料(文書資料+映像資料)がつながっていて良かったです。
- ・懐かしい風景がたくさんありました。ここは、昔はこうだったなという所がたくさんありました。今は随分と発達したなと再認識しました。
- ・拝見して初めて知ることが多く、特に当時の写真からうかがえる郷土の姿に感動しました。
- ・進駐軍に関する子供の作文を読みたいと思いました。
- ・47年前の岡山の姿を映像で見るのは初めてだったのでとても新鮮でした。
- ・昔を思い出して、大変懐かしかったです。
- ・静かに眠っている所と思っていた県立記録資料館が最近活発に動き出したように感じてきました。引き続きご健闘をお祈りいたします。

③ 年齢、性別についてよろしければ御記入ください。(無回答有)

30代女性:2人
40代男性:1人 40代女性:2人
50代男性:7人 50代女性:2人
60代男性:13人 60代女性:7人
70代男性:6人 70代女性:1人
80代男性:4人

平成28年度アーカイブズウイーク「記念講演会」アンケート集計結果(抄録)

受講者数 53人(6月5日) アンケート 47人分

① 今回の記念講演会は、何によってお知りになりましたか。

記録資料館:20人 ホームページ:7人 チラシ:7人 新聞:6人
生涯学習大学受講案内:5人 知人の紹介:2人

② ご感想をお聞かせください。

- ・映像で観る出来事は、観る者に強い印象を与えるものと実感した。
- ・倉敷川の繁盛と高瀬舟を川上へ引き上げるシーンの映像が良かった。
- ・ホイットニー少佐のフィルムの存在を初めて知りました。
- ・歴史の雰囲気を知るよい記録だと思いました。機会があればまた観てみたいと思います。

何

を残すか、何に残すかという話はとても考えさせられます。

- ・我々が生まれる前の室戸台風の映像状況(旭川)が動画にて観れたこと、最上稲荷にケー

ブ

ルカーがあったこと、吉備津神社の渡り廊下があったことの歴史が動画で観ることが出来て

幸せです。

- ・「吉備の国 岡山」は歴史の宝庫であることを、改めて知ることが出来た。今後あらゆる機会

に

発信していこうと思う。

感
じた。また、そのフィルムの保存等の必要性も痛感した。

- ・もっとゆっくりみたいなと思いました。アーカイブの重要性を感じた。
- ・貴重なフィルム映像があるライブラリーセンターの存在を知り、近いうちに必ず訪れたいと思います。
- ・大変興味深く拝見しました。他県から岡山に来て35年、岡山の事をもっと知りたくなりました。

。

今後もこのような企画に参加させて頂きたいと思います。

- ・私たちが現在の映像を後世に伝えるべく保存していきたいと思います。

・映像の持つ伝える力を改めて感じました。現在残っている映像を未来に残す重要性とともに

、

現在の記録も意図的に残していく取り組みもまた必要だと感じました。

- ・貴重な記録が残っていて、今後も今日のように公開してほしい。
- ・映像の力、残すということも大切ですが、残されたものを読み解く力も大切だということに感

銘

を受けました。

- ・時間の関係で映像が少ないのは残念でした。
- ・映像資料はイメージを膨らませやすいし、多くの人が共通のイメージを持つことが出来ると

感

じた。文書資料だとそうはいかないが、両方ともそれぞれに大切にしていきたい。

・映像による当時の生活の真実の姿から当時を理解する有力な資料保存は非常に大切な仕事だと思いました。

・解説付でとてもわかりやすく、貴重な映像にとっても感動しました。

・昔の映像をみることにより、現在の「当たり前」がとてもありがたいものであると思いました。

「当たり前」を「当たり前」と思わず、感謝の気持ちを大切にしていきたいと強く感じた。

・よくぞ動画として残していたと感動しました。もっとマスコミを通じてフィルム、写真等を提供して頂けるよう案内してはどうか。

・岡山の近代、現代の歴史を振り返ることができました。若い世代に知らせたいと思いました。

。

③ 年齢、性別についてよろしければ御記入ください。(無回答有)

40代男性： 3人 40代女性： 2人

50代男性： 3人 50代女性： 1人

60代男性： 17人 60代女性： 2人

70代男性： 10人 70代女性： 1人

80代男性： 5人

平成 28 年度「楽しい古文書A・B」アンケート集計結果(抄録)

受講者数 50 人(6 月 2 日、6 月 4 日) アンケート 43 人分

① 講座があることを、何によってお知りになりました。(複数回答有)

チラシ:15人 ホームページ:17人 知人の紹介:7人 記録資料館:5人

その他:2人 新聞:1人

② 講座について。

満足:20人 非常に満足:18人 普通:5人

③ 講座の内容について

ちょうど良かった:34人 やさしかった:6人 難しかった.:2人

その他:1人(楽しかった)

④ ご感想をお聞かせください。

- ・「3段なぞ」のふりがなを消せば難易度が上がった。
- ・資料が丁寧で、とてもわかりやすかったです。
- ・「3段なぞ」を多く紹介して頂ければ楽しめた。
- ・とても楽しくわかりやすかったです。是非何回か連続講座でお聞きしたかったです。
- ・できれば、土日、祝日に開催してほしい。
 - ・インターネットはしたことが無いので、試してみたいです。
 - ・辞書を見ても分からないくずし文字があった時、教えて頂ける機会が欲しい。
 - ・ルビのある資料から始まったので親しみやすくて良かったです。
 - ・講座開講のお知らせが分かりにくいので、広報をさらにお願いします。(チラシ、新聞等)
 - ・詳しく説明されて良かったのですが、時間をもう1時間程度長くし、ゆっくり聞きたかったです。
- ・私と同じように古文書を勉強、調べておられる事を知り、参加をして良かったと思いました。
 - ・中級は年4回しかないので、準備運動的なものとして参加しています。
 - ・中級の申し込み日が、インターネットになかなか発表されなかったのが困りました。
 - ・さわりだけだったので、もう少し講座を受けてみたいと思いました。
 - ・少し難しかったが、もっとわかるようになれば楽しいと思う。
 - ・続けて受講したい。
 - ・実物の古文書を見せてくれたのは良かった。
- ・参考資料などよく整理されていて、ありがたかったです。

⑤ 年齢、性別についてよろしければご記入ください。(無回答有)

30代女性: 2人

40代男性: 1人 40代女性: 1人

50代男性: 6人 50代女性: 2人

60代男性:12人 60代女性: 8人

70代男性: 5人 70代女性: 1人

80代男性: 3人

平成 28 年度古文書解読講座「深める古文書」アンケート集計結果(抄録)

受講者数 46 人(9 月 23 日) アンケート 45 人分

① 講座があることを、何によってお知りになりました。(複数回答有)

ホームページ:20人 記録資料館:15人 チラシ:7人 新聞:3人
知人の紹介:2人 その他:2人

② 講座について。(無回答有)

満足:25人 非常に満足:14人 普通:4人

③ 講座の内容について。(無回答有)

ちょうど良かった:22人 難しかった.:19人 その他:3人(やや難しい)

④ ご感想等お聞かせください。

- ・3回、4回は随分早口でついていくのが大変でした。
- ・資料の文と文の間をもう少し空けてもらえると、予習などの書き込みがしやすい。
- ・やさしい時、難しい時(最終回)があった。最終回位の内容でもっと学びたいと思った。
- ・個人的にはまだまだ力不足で内容の把握にまで至りません。比較的読み易いと思われる、手習いや寺子屋の教科書、公文書等を読み重ねたいと思います。災害記録や掟書き等も読めるようになればと夢見しています。
- ・毎回受講することに学ぶ楽しさが増してまいります、これからもよろしく願い申し上げます。
 - ・古文書に関する内容の解説を頂いたことで、大変勉強になりました。
 - ・特に日記類(近世)あればデジタルによりホームページによる公開を増やして欲しい。
 - ・難関な古文書をどうにか読むにはと受講しましたが、まだまだ謎多し。
 - ・他市図書館の講座を受けていますが、今回の様なきちんとしたものではなかったので解答があったり、説明がしっかりしている講座を受けることができ大変感動しました。人数制限にもれた友人にはコピーを渡しています。次のチャンスで彼女も受講できることを望んでいます。ネットで見えるようになっていたら家でも勉強できるので、是非対応お願いします。
 - ・講座実施(参加者募集)の告知について。去年は専修の申込期限をうっかり過ぎてしまいました。時々ホームページでチェックするのですが・・・およその時期(2ヶ月～3ヶ月ぐらい前にでも)をホームページで知らせて欲しいです。※メルマガは無理でしょうか。
 - ・最近「これは見たことがある。」と思う字が、散見されるようになりました。やはり数をこなすことが大切ですね。また時代背景や地理など知っておくことも大切なのですね。

⑤ 年齢、性別についてよろしければご記入ください。(無回答有)

30代女性: 1人

40代女性: 1人

50代男性: 2人 50代女性: 3人

60代男性:11人 60代女性:11人

70代男性:10人 70代女性: 2人

80代男性: 3人

アンケート【もんげーゼミナール】「和綴じ本を作ってみよう」の集計結果

平成28年8月7日

アンケート 7組分

① 今回の企画は、何によってお知りになりましたか？

- 1 チラシ:3人
(学校、図書館、公民館)
- 2 新聞:1人
(山陽新聞)
- 3 ラジオ:0人
- 4 記録資料館:2人
- 5 ホームページ:0人
- 6 知人の紹介:1人
- 7 その他:0人

② ご感想をお聞かせください。

- ・盛りだくさんの内容で普段体験することのない経験をさせていただきました。
とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・昔の人の知恵で作成された本の作り方に驚きました。
実際見せて頂いた本では岡山県の地図が書かれていて、普段経験できないことができて良かったです。
- ・ありがとうございました。
・楽しい企画です。小1でも楽しめました。
部分的にも、一生懸命することがあってよかったです。
またお願いします。
- ・はじめて作ったけどきれいにできたのでよかったです。
- ・楽しくできました。
ありがとうございました。
- ・今まで体験したことがないやり方や名前を知れて良かったです。